

# 主要除草剤 (2024年)

適用作物	対象雑草					除草剤名 (製品規格)	使用方法	使用時期	10a当り使用量	注意事項
	シロサ	タテ類	ハコベ	ツユクサ	イチビ					
飼料用トウモロコシ	●	●	●			ゲザプリムフロアブル (1L)	全面土壌散布	播種後出芽前 (雑草発生前)	100~200ml	●砂土系で透水性のよい圃場や、多量の降雨の続く時期の散布は葉害の恐れがあるので使用を避ける。 ●トウモロコシ2~4葉期の茎葉処理においてハルガヤの実生に効果がある。
	●	●	●	●			全面土壌散布及び 雑草茎葉散布	トウモロコシ2~4葉期 (雑草発生揃期)		
	●	●	●		●	ゲザノンゴールド (1L)	全面土壌散布	播種後~出芽前 (雑草発生前)	140~200ml	●砂土では使用しない。●極端な過湿土壌及び砂質土壌では、生育を抑制することがあるので、葉量を少なくする。
	●	●	●	●	●		全面土壌散布	トウモロコシの2~4葉期	140~200ml	●砂土では使用しない。●極端な過湿土壌及び砂質土壌では、生育を抑制することがあるので、葉量を少なくする。 ●低温等で生育が遅れている場合には、カスリ状の褪緑斑を生ずることがあるので、葉量を少なくする。●後作物として当年または翌年の水稲栽培は避ける。●生育の遅れる地域(根割)などでは、2葉期に散布する。
					●	ラッソー乳剤 (500ml, 5L)	全面土壌散布	播種後~出芽前 (雑草発生前)	200~400ml	●土壌が乾いていると効果が劣る。
							雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ1~2葉期 イネ科雑草2葉期まで	200~400ml	●粘土質土壌では、所定の範囲内で多めの葉量を使用する。
	●	●	●	●	●	モーティブ乳剤 (500ml, 5L)	全面土壌散布	播種後~トウモロコシ2葉期 イネ科雑草2葉期まで	200~400ml	●砂土では使用しない。 ●後作物としてかぼちゃ等のうり科、ほうれんそうやそばを伴うと生育を抑制することがあるので避ける。
	●	●	●		●	アルファード液剤 (500ml, 3L)	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ3~5葉期 (収穫45日前まで)	100~150ml	●散布時の展開葉に一過性の葉害(黄斑)を生じる場合があるが、その後の生育、収量には影響はない。
	●	●	●	●				トウモロコシ6~7葉期 (収穫45日前まで)	100~150ml	●他の除草剤(ワンホープ乳剤・シャドー水剤)との混用は葉害の恐れがあるので、混用しない。
	●	●	●	●		バサグラン液剤 (500ml, 3L)	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	広葉雑草の3~4葉期 (収穫50日前まで)	100ml	●散布後、曇天、降雨日が長く続くと効果が劣ることがあるので、晴天を見計らって散布する。●高温条件下では葉害が生じやすいので、異常高温下での散布は避ける。
	●	●	●		●	ブルーシアフロアブル (500ml, 2L)	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	40~50ml	●散布時の展開葉に葉害(黄斑)を生じる場合があるが、その後の生育、収量には影響はない。
	●	●	●	●	●			トウモロコシ6~7葉期 ただし、収穫45日前まで	50~75ml	●雑草発生が多い圃場では、初期生育での競合が懸念されるため、土壌処理などの併用が望ましい。
	●	●	●	●	●	ワンホープ乳剤 (500ml, 5L)	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ3~5葉期 (収穫30日前まで)	100~150ml	●品種によって葉害が生じる恐れがあるので注意する。 ●散布機械器具は家庭用洗剤等による十分な洗浄を行う。 ●有機リン系殺虫剤との混用及び7日以内の近接散布は葉害を生じることがあるので避ける。●シバムギ、レッドトップに効果がある。
	●	●	●	●	●	ワンホープペースOD (500ml, 5L)	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	トウモロコシ3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	100~200ml	●品種によって葉害が生じる恐れがあるので注意する。 ●散布機械器具は家庭用洗剤等による十分な洗浄を行う。 ●有機リン系殺虫剤との混用及び7日以内の近接散布は葉害を生じることがあるので避ける。●シバムギ、リードカナリーグラスに効果がある。
●	●	●	●	●	ラウンドアップマックスロード (500ml, 1L, 5.5L, 20L, 200L)	雑草茎葉散布	不耕起、播種後出芽前 (雑草生育期)	200~400ml (水50L)	●トウモロコシ出芽後の使用は枯死するので避ける。●専用ノズルを使用する。●泥炭土での使用は避ける。	
	ギンギン類					ハーモニーDF (10g, 50g)	飼料用トウモロコシ3~4葉期 (雑草生育期)	2g	●砂土では使用しない。●有機リン系殺虫剤との混用および7日以内の近接散布は、葉害を生じることがあるので避ける。●葉害が生ずるおそれがあるので必ず所定量及び使用時期を守り、均一に散布する。●器具類はできるだけ早く専用の洗浄剤で洗浄する。	
アルファルファ	ギンギン類					ハーモニーDF (10g, 50g)	新播草地のギンギン類の 栄養成長期(最終採草後) 本葉3~4葉期	新播草地 200~300ml	●処理後一時的に生育抑制及び黄化が見られることがある。●単播草地に適用する。●秋期播種の場合には翌春処理が望ましい。●散布後14日間は放牧はしない。●秋期散布は最終採草後に行う。	
	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	経年草地: 春処理(5月上~下旬) (採草14日前まで)	経年草地 200~300ml	●春期における高葉量処理の場合に、混播イネ科牧草に生育抑制及び黄化が見られることがある。●採草直後の散布は避ける。●散布後に実生が発生するので、春期と秋期の体系処理が必要である。●散布後14日間は放牧・採草はしない。●秋期散布は最終採草後に行う。						
		経年草地: 秋処理(10月上~中旬) (最終採草後)	経年草地 300~400ml	●アルファルファ経年草地及びイネ科混播草地に限る。●散布後21日間は採草・放牧を行わない。●散布後は直ちに専用の洗浄剤でタンクやホース内を洗浄する。						
草地 (経年草地)	ギンギン類					雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	経年草地の夏処理及び秋処理 (採草21日前まで)	3g	●イネ科単播経年草地及びアルファルファとの混播草地。●クローバに対する葉害が著しい。●散布後21日間は採草・放牧を行わない。●散布後は直ちに専用の洗浄剤でタンクやホース内を洗浄する。	
	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	春処理(5月上~下旬) ギンギン類の栄養成長期 (採草14日前まで)	200~300ml	●高温時又は降雨前の散布は避ける。●重複散布は避ける。●採草・放牧直後の散布は避ける。●散布後14日間は放牧・採草を行わない。●局所処理は50~80倍液を1株当たり約25ml。●局所散布した周辺の牧草は飼料にしない。						
		秋処理(10月上~中旬) ギンギン類の栄養成長期	300~400ml	●夏、秋播種草地への散布は避ける。●当年はギンギン類の黄化のみで翌年春に枯死する。●秋期散布は最終採草後に行う。●散布後14日間は放牧を行わない。						
	雑草茎葉散布	バンベル-D液剤(1L)	秋期最終刈取後30日以内	75~100ml (水100L)	●マメ科牧草には葉害を生じるので、イネ科草地で使用しない。●秋期散布した牧草は使用しない。					
草地 (新播)	ギンギン類					雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	夏処理及び秋処理。夏播種牧草定着後、 ギンギン類の草丈20cm以下	0.5~1g (水100L)	●クローバに対する葉害が著しい。●茎葉処理剤のためギンギン類の葉が展開してから行う。●散布後21日間は採草・放牧を行わない。	
	秋処理(10月上~中旬) ギンギン類の栄養成長期(但し、 最終採草後)	200~300ml	●夏、秋播種草地への散布は避ける。●当年はギンギン類の黄化のみで翌年春に枯死する。●秋期散布は、最終採草後に行う。●散布14日間は放牧を行わない。							
草地 更新用地	一年生及び 多年生雑草					雑草茎葉散布	雑草の生育期 (耕起の10日以前)	200~300ml (水25~50L)	●専用ノズルを使用する。●刈取後は前植生の再生を待つて処理する。●ギンギン類は300~500mlで使用する。●リードカナリーグラスは500~750mlで使用する。	
	播種床からの雑草発生揃期 (播種10日前から播種当日まで)	200~300ml (水50L)	●専用ノズルを使用する。●泥炭土での使用は避ける(ただし、表土の土砂含量が55%を超える場合はその限りではない)。							

※令和5年度北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドを参考に作成した。

※農薬の使用に当たっては適用作物、使用時期、使用濃度、使用量、注意書き等、農薬容器のラベルに記載された事項等を遵守し、農薬安全使用基準に沿って、安全かつ適性に使用するようしてください。

# 牧草種子の混播例

●播種量はブロードキャスターによる作業を想定しています。  
●マメ科牧草は全てハイパーコート加工種子です。

草種	早晚性 (タイプ)	品種 <sup>1)</sup>	播種量 (kg/10a)
<b>採草① チモシー早生主体</b>			
チモシー	早生	マオイ	2.1
アカクローバ	晩生	SWアレス	0.2
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			2.5

<b>採草② チモシー早生主体アルファルファ混播</b>			
チモシー	早生	マオイ	2.0
アルファルファ	早生	ケレス2	0.3
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			2.5

<b>採草③ チモシー中生主体アルファルファ混播</b>			
チモシー	中生の早	アルテミス (品種SBT0308)	2.0
アルファルファ	早生	ケレス2	0.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5

<b>採草④ チモシー中生主体 採草及び兼用草地</b>			
チモシー	中生	ヘリオス (品種SBT0310)	2.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5

<b>採草⑤ オーチャードグラス主体 採草及び兼用草地(道東向け)</b>			
オーチャード グラス	中生の晩 ／晩生	えさじまん ／バッカス	2.0
メドウフェスク*	早生	コスモポリタン	0.5
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.2
計			2.7

※道央・道北・道南地域ではメドウフェスクをペレニアルライグラスに置き換え可能

<b>採草⑥ オーチャードグラス主体 アルファルファ混播</b>			
オーチャード グラス	中生の晩 ／晩生	えさじまん ／バッカス	2.3
アルファルファ	早生	ケレス2	0.5
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.2
計			3.0

<b>採草⑦ イタリアンライグラス主体 水田転換向け</b>			
イタリアン ライグラス	早生	マンモスイタリアンB (品種ビリケン)	4.0
シロクローバ	大葉型	ルナメイ	0.5
計			4.5

<b>採草⑧ アルファルファ主体 チモシー混播</b>			
アルファルファ	早生	ケレス2	1.5
チモシー	早生	マオイ	1.3
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.2
計			3.0

草種	早晚性 (タイプ)	品種 <sup>1)</sup>	播種量 (kg/10a)
<b>放牧① チモシー主体</b>			
チモシー	晩生	キウス	2.3
シロクローバ	小葉型	アバパール	0.2
計			2.5

<b>放牧② ペレニアルライグラス主体(道央・道北・道南向け)</b>			
ペレニアル ライグラス	晩生	フレンド	2.7
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0

<b>放牧③ メドウフェスク主体(道東向け)</b>			
メドウフェスク	早生	コスモポリタン	2.7
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0

<b>放牧④ オーチャードグラス主体(道東向け)</b>			
オーチャード グラス	晩生 ／中生の晩	バッカス ／えさじまん	2.2
メドウフェスク*	早生	コスモポリタン	0.5
シロクローバ	中葉型	アバラスティング	0.3
計			3.0

※道央・道北・道南地域ではメドウフェスクをペレニアルライグラスに置き換え可能

<b>放牧⑤ ケンタッキーブルーグラス主体 軽種馬用向け</b>			
ケンタッキー ブルーグラス	早生	ラトー	5.5
チモシー	晩生	キウス	0.5
計			6.0

## 種子の形状 (方眼・目盛は各1mm)



チモシー



オーチャードグラス



ペレニアルライグラス



メドウフェスク



ケンタッキーブルーグラス



シロクローバコート種子

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を( )書きで記載しております。  
2) 各品種の品種登録の有無や海外持出制限等の利用条件についてはP58-59をご確認ください。

## 牧草類 (イネ科)

◎:適する ○:可能 ✕:不適

種類	品種 <sup>1)2)3)</sup>	海外持出禁止 <sup>4)</sup>	早晩性(タイプ)	主な特性	適地		用途		播種量(kg/10a)
					乾燥地	湿潤地	採草	放牧	
チモシー	クンプウ		極早生	萌芽・再生が良好な極早生品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	センブウ <sup>5)</sup>	●	極早生	多収で競合力・斑点病抵抗性に優れる	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	マオイ <b>PVP</b>	●	早 生	収量性・再生力・耐倒伏性に優れる	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	ホライズン <b>PVP</b>	●	早 生	耐倒伏性・再生力に優れる多収品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	ノサップ		早 生	再生・耐病性に優れる品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	なつちから <b>PVP</b>	●	早 生	2番草の再生力に優れる早生品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	アルテミス(品種SBT0308) <b>PVP</b>	●	中生の早	再生力に優れ、アルファルファとの混播が可能な多収品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	なつぴりか <b>PVP</b>	●	中 生	耐倒伏性に優れる多収品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	アツケシ		中 生	斑点病抵抗性に優れる中生品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	ヘリオス(品種SBT0310) <b>PVP</b>	●	中 生	採草・放牧共に適するオールマイティな中生品種	○	◎	◎	◎	2.0~2.5
	キリタツブ		中 生	中生の中でもやや遅い品種	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	センリョク <sup>5)</sup>	●	中 生	採草・放牧利用時ともに収量性・耐倒伏性に優れる	○	◎	◎	○	2.0~2.5
	シリウス <b>PVP</b>	●	晩 生	1番草が多収な採草用晩生品種	○	◎	◎	◎	2.0~2.5
	キウス <b>NEW PVP</b>	●	晩 生	放牧での収量が多く、分けつ密度が高い新品種	○	◎	◎	◎	2.0~2.5
	なつさかり <b>PVP</b>	●	晩 生	採草および放牧用品種	○	◎	◎	◎	2.0~2.5
オーチャードグラス	はるねみどり <b>PVP</b>	●	早 生	越冬性と春・秋の生育に優れる	◎	○	◎	○	2.0~2.5
	えさじまん <b>PVP</b>	●	中生の晩	糖含量が多く、多収なニュータイプの中生品種	◎	○	◎	○	2.0~2.5
	ハルジマン <b>PVP</b> <sup>6)</sup>	●	中 生	越冬性・耐病性に優れる	◎	○	◎	○	2.0~2.5
	バックラス <b>PVP</b>	●	晩 生	越冬性、春の萌芽、収量性に優れる晩生品種	◎	○	◎	○	2.0~2.5
	パイカル <b>PVP</b>	●	晩 生	越冬性に優れる晩生品種	◎	○	◎	○	2.0~2.5
	トヨミドリ		極晩生	越冬性に優れる多収品種	◎	○	◎	○	2.0~2.5
ペレニアルライグラス	チニタ <b>PVP</b>	●	中 生	1番草は採草、その後放牧する兼用利用に適する	○	◎	○	◎	2.0~2.5
	フレンド		晩 生	旺盛な再生力で集約放牧に適する 永続性に優れる	○	◎	○	◎	2.0~2.5
	ポコロ		晩 生	越冬性・春の萌芽に優れ、放牧に適する	○	◎	○	◎	2.0~2.5
フェストロリウム	ノースフェスト <b>NEW PVP</b>	●	—	高栄養価で越冬性に優れ、追播利用にも適する新品種	◎	◎	◎	◎	2.0~2.5
メドウフェスク	コスモポリタン		早 生	越冬性・季節生産性に優れ、放牧利用に適する品種	◎	○	○	◎	2.0~2.5
	まきばさかえ <b>PVP</b>	●	早 生	雪腐病に強く、土壌凍結地帯での集約放牧に利用できる	◎	○	○	◎	2.0~2.5
イタリアンライグラス	マンモスイタリアン <sup>B</sup> (品種ヒリケン)		早 生	1年生で生育が早く多収。春播きが基本	○	◎	◎	○	3.0~4.0
ケンタッキーブルーグラス	ラトー		早 生	初期生育、サビ病抵抗性、収量性に優れる	◎	◎	✕	◎	5.0~6.0

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を( )書きで記載しております。

2) 全て北海道優良品種

3) 青文字は弊社がおすすする品種です。

4) 海外持出禁止(農林水産大臣公示有)

5) 品種登録出願中(出願公表中)

6) 品種登録消滅予定日2024年8月19日

## その他の飼料用作物

種類	品種 <sup>1)</sup>	早晩性(タイプ)	主な特性	適地		播種量(kg/10a)
				乾燥地	湿潤地	
エンバク	スーパーハヤテ隼(品種隼)	極早生	茎が太く倒伏に強い 牧草との同伴栽培にも適する	◎	○	8.0~10.0
	とちゆたか	中 生	出穂は品種「隼」よりも10日程度遅い。耐倒伏性に優れ、牧草との同伴栽培にも適する	◎	○	8.0~10.0
ライムギ	春香	晩 生	耐寒性に優れ、9月中下旬播種で越冬利用可能 紅色雪腐病の抵抗性に優れる	◎	○	8.0~10.0
	R-007(品種ウィーラー)	極晩生	耐寒性に優れ、9月中下旬播種で越冬利用可能 紅色雪腐病の抵抗性に優れる 出穂始は品種「春香」よりも3~5日遅い	◎	○	8.0~10.0

1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を( )書きで記載しております。

## 牧草類 (マメ科)

◎:適する ○:可能 ✕:不適

種類	品種 <sup>1)2)3)</sup>	海外持出 禁止 <sup>4)</sup>	早晩性 (タイプ)	主な特性	適地		用途		播種量 (kg/10a)
					乾燥地	湿潤地	採草	放牧	
アカクローバ	ナツユウ <b>PVP</b> <sup>5)</sup>	●	早 生	2番草の生育が穏やかでチモシーとの混播に適する	◎	○	◎	✕	混播0.1~0.3
	リョクユウ <b>PVP</b>	●	早 生	オーチャードグラス、チモシー極早生との混播適性に優れる	◎	○	◎	✕	混播0.1~0.3
	SWアレス		晩 生	生育が穏やかでチモシー中生品種との混播に最適 永続性に優れる	◎	○	◎	✕	混播0.1~0.3
シロクローバ	アバパール		小 葉	チモシー中生・晩生品種との混播に適し、越冬性と永続性に優れる	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	アバラスティング		中 葉	生育が穏やかな中葉型で、チモシー早生品種との混播に適する	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	ルナメイ		大 葉	大葉型で、越冬性に優れ、季節変動が少ない	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	タホラ II		小 葉	永続性と混播適性に優れる	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	フィア (品種グラスランズ フィア)		中 葉	条件の悪い地域でも永続性良好な中葉型品種	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	ソーニャ		中 葉	再生力の旺盛な中葉型品種。密度が高く越冬性も良好	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
	リースリング		中 葉	競合力が強い中葉型品種	○	◎	◎	◎	混播0.1~0.3
アルファルファ	ケレス <b>PVP</b>	●	早 生	越冬性とそばかす病抵抗性に優れる多収品種 パーティシリウム萎ちよう病抵抗性品種	◎	✕	◎	✕	単播2.0~2.5
	ケレス2 <sup>6)</sup> NEW	●	早 生	ケレスよりさらに収量性、越冬性を改良した後継品種	◎	✕	◎	✕	単播2.0~2.5
	カール NEW		早 生	生育が穏やかでチモシー中生品種との混播適性 が優れる新品種	◎	✕	◎	✕	単播2.0~2.5
	ハルワカバ <b>PVP</b>	●	早 生	越冬性に優れる パーティシリウム萎ちよう病抵抗性品種	◎	✕	◎	✕	単播2.0~2.5
	ウシモスキー <b>PVP</b>	●	早 生	多収で越冬性に優れる パーティシリウム萎ちよう病抵抗性品種	◎	✕	◎	✕	単播2.0~2.5

- 1) 品種名と商品名が異なる品目は、品種名を( )書きで記載しております。  
 2) 全て北海道優良品種  
 3) 青文字は弊社がおすすめする品種です。

- 4) 海外持出禁止(農林水産大臣公示有)  
 5) 品種登録消滅予定日2024年11月9日  
 6) 品種登録出願中(出願公表中)

## トウモロコシ

※評点は9:極良好~1:極不良

商品名	品種	熟期	北海道 <sup>1)</sup> 統一RM(総体)	初期 生育	早晩性	耐倒 伏性	すず 紋病	根腐病	ごま 葉枯病	子実 収量	TDN 収量	栽植本数 本/10a	ワンホープ 乳割 適応性	ワンホープ <sup>2)</sup> エースOD 適応性	備考
ニューデント78ソリート	Anjou227	78		9	8	7	8	7	7	9	9	7~8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント80	LG31207	80	76	9	9	8	8	7	8	9	9	8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント85	LG31223 NEW	85		8	8	6	8	8	8	8	9	7~8,000	可	-	
ニューデント85	エリオット	85		8	9	7	9	7	8	9	9	8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント85	ビビアン	85		8	7	9	8	9	7	8	8	8,000	可	可	
ニューデント85	LG31237	85		8	8	6	8	8	8	8	9	7~8,000	可	可	
ニューデント90	LG31295 NEW	90		9	8	6	9	9	7	9	9	7~8,000	可	-	
ネオデント・クロス90	SL12029	90		9	8	8	8	8	8	9	8	8~9,000	可	可	
ネオデント・アシル90	SH1353	90		9	6	9	9	9	8	8	8	7~8,000	可	可	北海道優良品種
ネオデント・エスパス95	SL0746	95		8	7	8	7	8	8	9	8	8,000	可	可	北海道優良品種
ニューデント100	LG3457	100		8	7	9	7	9	7	8	8	8,000	可	可	
-	LG3490	102		7	7	7	8	8	8	9	9	7~8,000	可	可	
ニューデント105	LG2533	105		7	8	9	9	8	8	8	8	8,000	可	可	
スノーデント110	LG30500	110		8	7	8	9	9	9	9	9	7,000	可	可	北海道優良品種
スノーデント115	LG31,588 NEW	115		8	7	8	9	9	9	9	9	7,000	可	-	

- 1) 北海道統一RM(総体)とは、飼料用トウモロコシの早晩性を各社横並びで評価出来るよう道総研畜産試験場により開発された指標(平成28年度指導参考事項)です。総体乾物率30%に達するまでの早晩のみで決定しているため、既存の早晩性表記とは順列が異なる場合があります。当面、表記は平成30年以降認定の極早生から早生の優良品種を対象としています。詳しくは畜産試験場飼料環境グループ(TEL0156-64-0620)までお問い合わせ頂るか、右記のホームページ(2次元バーコード)を参照してください。
- 2) - : 適応性試験実施中  
 除草剤「ワンホープ乳割」及び「ワンホープエースOD」は適応性「可」と記載されていても、高温な日(最高気温30℃以上)、または乾燥により作物がストレスを受けている状態では使用しないでください。





NEW

# 待望の フェストロリウム新発売

PVP

海外持出禁止  
(農林水産大臣公示有)

品種

# ノースフェスト

高栄養価で越冬性に優れる  
初期生育が早く、追播に適する



## 雪印種苗株式会社

<https://www.snowseed.co.jp/>

本社	〒004-8531	札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号	☎ (011) 891-5911(代)	FAX (011) 891-5920
北海道研究農場	〒069-1464	夕張郡長沼町字幌内1066番地5	☎ (0123) 84-2121	FAX (0123) 82-6101
技術研究所	〒069-0832	江別市西野幌36番地1	☎ (011) 384-2855	FAX (011) 380-2050
道央営業所	〒059-1373	苫小牧市真砂町35番地23	☎ (0144) 56-1311	FAX (0144) 51-5019
八雲営業所	〒049-3113	二世郡八雲町相生町100番地3	☎ (0137) 64-3211	FAX (0137) 64-2695
旭川営業所	〒079-8452	旭川市永山北2条7丁目8番地15	☎ (0166) 47-3320	FAX (0166) 47-5361
豊富営業所	〒098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ3228番地12	☎ (0162) 82-3026	FAX (0162) 82-2940
釧路営業所	〒084-0905	釧路市鳥取南5丁目1番17号	☎ (0154) 51-1641	FAX (0154) 51-2410
帯広営業所	〒082-0005	河西郡芽室町東芽室基線13番26	☎ (0155) 62-8181	FAX (0155) 62-8585
別海営業所	〒086-0345	野付郡別海町中西別192番地6	☎ (0153) 75-6211	FAX (0153) 75-6670
北見営業所	〒090-0805	北見市清月町18番地13	☎ (0157) 61-3131	FAX (0157) 61-3134



会社ホームページ



畜産技術情報  
ゆきたねネット



このカタログは、震災復興型カーボンオフセット川紙を使用することにより、CO2削減活動ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

※本カタログの内容(記事・写真・イラスト等)を無断で複写・転載することを禁止いたします。  
2023年9月作成